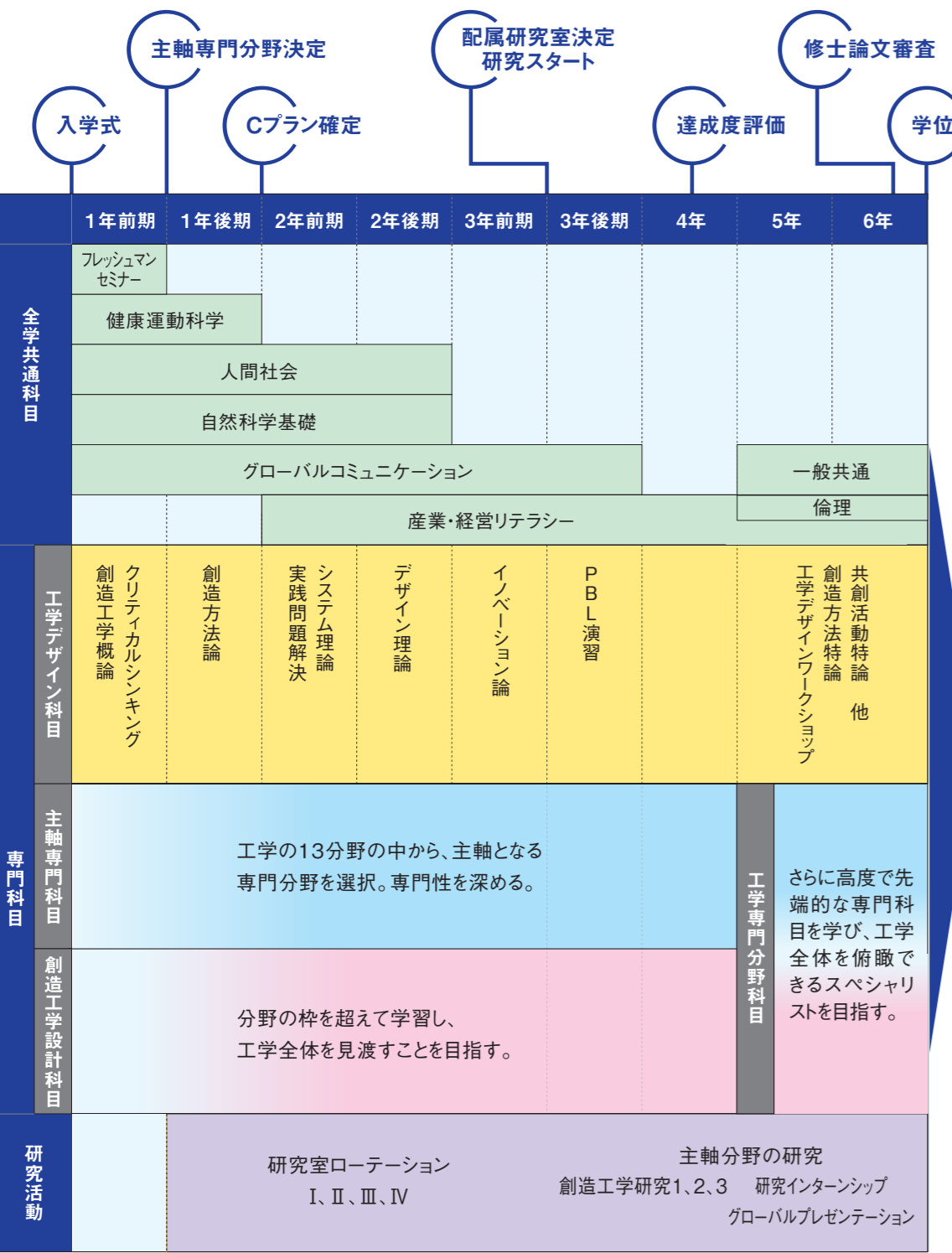


入学から卒業までの流れ

創造工学教育課程は、学部4年+大学院2年のシームレスな学習ができる教育課程です。1年生では、自分の興味に基づいて主軸の分野を決め、メンター教員とともに学習目標を設定してCプランを作成します。1年生後期からは、主軸以外の様々な工学分野の先生や学生とともに研究やゼミを行う研究室ローテーションや、多彩な知識から新しい価値を創造する方法論を学ぶ工学デザイン科目群などを学びます。3年生後期から本格的な研究活動がスタート。5年生で実践的な能力を身につけるための研究インターンシップを体験し、技術を価値に結びつける能力をさらに強化するための工学デザインワークショップや、プレゼンテーション能力をさらに高めるためのグローバルプレゼンテーションを学びながら、6年生修了までの3年半の時間をかけて、じっくりと主軸の研究に打ち込みます。



新たな《価値・もの》を創造
進学・就職

注:このフローは学部のカリキュラムを中心に示しています。

入試情報

創造工学教育課程では、工学や科学技術に幅広く強い関心を持ち、知的探究心が旺盛で、他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもつ、6年間の学習に意欲的な学生を募集します。

詳しい情報は名古屋工業大学HP入試案内をご覧ください。

募集人員	学校推薦型選抜	一般選抜	
		共通テストを課さない	共通テストを課す
材料・エネルギーコース(60名)	15	9	21
情報・社会コース(40名)	10	6	14
選抜方法等	推薦書・調査書 エントリーカード 基礎学力検査 数学・理科(物理または化学) 面接(集団面接) ※英語外部試験で基準点を満たしていること ※共通テストを免除	推薦書・調査書 エントリーカード 大学入学共通テスト 5教科7科目 面接(集団面接)	調査書・エントリーカード 大学入学共通テスト 5教科7科目 個別学力検査 数学・理科(物理または化学)・英語・小論文 面接(集団面接)
試験日程	基礎学力検査・面接 2023年11月23日	面接 2024年1月26日	個別学力検査 2024年2月25日 面接 2024年2月26日
			個別学力検査 2024年3月12日 面接 2024年3月13日

※共通テストを課さない学校推薦型選抜における出願要件の英語外部試験について、詳しくは2024年度入学者選抜要項を参照ください。

就職状況

創造工学教育課程では、これらをはじめとして、多くの企業等に可能性があります。

2022年度就職実績

産業界	産業界	産業界	産業界
(株)アイシン NTT西日本(株) NTT東日本(株) 株NTTドコモ 株ENEOSマテリアル 株オリバー 川崎重工業(株) キオクシア(株) 京セラ(株) 清水建設(株) シャープ(株)	スズキ(株) ゼブラ(株) (株)大和総研 中部電力(株) 中部電力パワーグリッド(株) 株デンソー 東邦ガス(株) トヨタ自動車(株) 株豊田自動織機 トヨタ車体(株) 株豊田中央研究所	日鉄エンジニアリング(株) 日鉄ステンレス(株) 日東電工(株) 日本アイ・ビー・エム(株) 日本ガイシ(株) 日本電産(株) 日本特殊陶業(株) パナソニック(株) パナソニック エンターテイメント&コミュニケーション(株) 株ハロマ	(株)PwCコンサルティング合同会社 株日立製作所 株FUJI ブラザー工業(株) 本田技研工業(株) 株マキタ 株村田製作所 森永製菓(株) 矢崎総業(株) ヤマハ(株)

アクセス

JR東海…中央本線 鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄…鶴舞線 鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
桜通線 吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス…栄18 名大病院下車(東へ約200m)
昭和巡回 名大病院下車(東へ約200m)

※「栄18」「昭和巡回」は市バスの系統名です。
ウェブパンフレットはこちら
https://daigakuic.jp/nitech/

名古屋工業大学入試課
TEL:052-735-5083 〒466-8555 名古屋市長和区御器所町
インターネットによる大学案内 https://www.nitech.ac.jp/



未来に輝く。

Creative Engineering Program
創造工学教育課程

2023

国立大学法人
名古屋工業大学
http://cr.web.nitech.ac.jp/

幅広い視野を持つ工学センスと実践力を磨く学部・大学院6年一貫コース「創造工学教育課程」

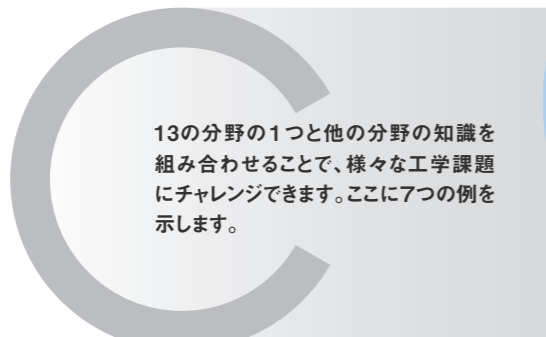
名古屋工業大学は、工学分野の専門性を磨く5つの学科と併設して、
工学のセンスと総合力を学ぶ創造工学教育課程を新たに開設しました。
創造工学教育課程に入学した学生は専門を1つ選択して学びながら、
自身の目標に向かって必要な科目選択を設計し、
これらの技術を価値に結びつける科目や体得する科目によって
工学のセンスを学部から大学院の6年間をかけてじっくり磨きます。
創造工学教育課程は様々な角度から工学の課題に挑戦し、新たな商品や
サービスの開発によってイノベーションに貢献する技術者を育てます。

6年一貫の教育コース。 学部4年+大学院2年のシームレスな学び。

近年の科学技術の高度化にともない、工学部に入学しエンジニアを目指す学生にとって、大学院博士前期課程への進学は一般的になりつつあります。通常、大学院へ進学するためには、大学院入学試験の合格が必要。はじめから大学院進学を希望する学生にとっては、学びが一時中断されることにもなりえます。新設の創造工学教育課程では学部と大学院の壁を取り払い、ストレートに大学院へ進学。学部4年次から大学院修了までの3年間、研究活動に注力できます。

分野の枠を越えて工学の センスを身につける。

必要なのは、工学全体を見渡す広い視野と創造力。本課程では、すべての工学分野を網羅した名古屋工業大学の特徴を活かし、広い視野で工学の知識を身につけた人材の育成を目指します。



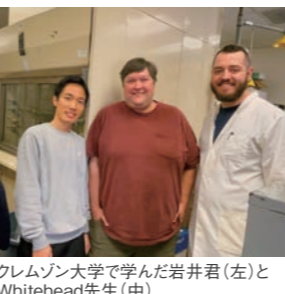
Cプランとは
カリキュラム(Curriculum)のC
キャリア(Career)のC
創造(Creative)のC。
1年生の前後期間に名古屋工業大学創造工学教育課程で何を目標に学ぶか、そのためにどんな授業を選択するかをメンター教員とともにカリキュラムプランとして仕上げます。これは将来の技術者としてのキャリアプランであり、創造的活動を行う上での設計図となります。



**総合的コミュニケーション力
少人数教育で手厚いフォローを実現**
一人ひとりのCプランを手掛かりに、幅広い工学の創造性と、総合的コミュニケーション力を身に付けます。加えて、「研究室ローテーション」や問題解決やサービスを学ぶ「工学デザイン科目」で関心を広げます。また、各学年で学生2名に1名の「メンター教員」を配置し、科目選択の相談や習熟度のチェックで手厚くフォロー。学生の学びを強力にバックアップしてくれます。



クレムゾン大学のキャンパス



クレムゾン大学で学んだ岩井君(左)とWhitehead先生(中)

研究インターンシップにチャレンジ
5年目には研究インターンシップで3か月間、国内外の機関で研究開発の実践にチャレンジします。
海外の派遣先(連携機関):
米国 クレムゾン大学、リーハイ大学、ドイツ ウルム大学、フランス リモージュ大学、イタリア サレルノ大学、ハンガリー BME、ミシュコルツ大学、シンガポール 南洋工科大学、他



主軸13分野の概要

分野名	キーワード	学習目標設定のヒント	担当教員
生命・物質化学	有機合成化学 超分子化学 界面化学 有機材料化学 バイオ関連化学	生命・物質化学分野を主軸とし、分子や集合体を自在に設計・構築する技術を修得することで、有機デバイスや医用機能材料に携わる研究へと展開していきます。	岩田修一 教授 小野克彦 准教授 宮川 淳 准教授 山本 靖 准教授
ソフトマテリアル	高分子材料 機能性プラスチック タンパク質・DNA 生体適合性高分子 環境に優しい高分子合成	ソフトマテリアル分野を主軸とし、材料機能やデザイン工学も同時に学ぶことで、機能性高分子を活用した人に優しい生活用品の開発が期待できます。	猪股克弘 教授 高須昭則 教授 松岡真一 准教授
環境セラミックス	無機-有機ハイブリッド材料 機能性ナノ粒子 電池材料 エレクトロニクス 環境浄化	無機材料化学を主軸とし、電気電子工学や生命科学も学ぶことで、環境に調和して高度な機能を発現する、エネルギー材料、水質浄化材料、バイオ関連材料などの開発が期待できます。	柿本健一 教授 春日敏宏 教授 前田浩孝 教授 瀧上輝輝 助教
材料機能	ナノ粒子・薄膜材料 複合・傾斜機能材料 鉄鋼・軽金属材料 光デバイス材料 エネルギー材料	材料機能分野を主軸とし、電気電子も同時に学ぶことで、エネルギー材料を使用した発電システムを構築するなど、未来のエネルギー開発が期待できます。	吳 松竹 教授 佐藤 尚 教授 濱中 泰 教授 日原岳彦 教授 渡邊義見 教授 宮崎秀俊 准教授
応用物理	スパコン活用シミュレーション 薄膜・ナノ材料 原子レベル加工 機能性誘電体材料 フェムト秒レーザー	応用物理を主軸とし、材料機能も同時に学ぶことで、シミュレーションや加工技術を身につけ、新しい機能性材料、センサー、デバイスの開発が期待できます。	市川 洋 教授 岩田 真 教授 尾形修司 教授 小林 亮 准教授 宮川鈴衣奈 助教
電気電子	エネルギーシステム マイクロニクス システム制御 ワイヤレス技術 生体電磁環境	電気電子分野を主軸とし、情報ネットワーク、材料、デザイン工学を同時に学ぶことで、持続可能な社会システムとつながる未来のコネクティッド・カー開発へ展開することが期待できます。	岩崎 誠 教授 小坂 卓 教授 平田晃正 教授 青木 睦 准教授 安在大祐 准教授 岡本英二 准教授 関 健太 准教授
機械工学	流れの力学 エネルギーの利用と制御 振動の制御 マイクロ・ナノ工学 ヒューマンインターフェイス	機械工学を主軸とし、電気電子やメディア情報、知能工学を同時に学ぶことで、人や環境にやさしい機械システムの開発への展開が考えられます。	井戸康司 教授 糸魚川文広 教授 田中由浩 教授 若本悠宏 准教授 牛島達夫 准教授 杉田修啓 准教授
ネットワーク	Webアプリケーション モバイルコンピューティング 画像処理 アルゴリズム 分散システム	ネットワーク分野を主軸とし、デザイン工学やメディア情報、知能情報、電気電子工学を同時に学ぶことで、様々な分野を統合した研究やサービス開発が期待されます。	和田山正 教授 打矢隆弘 准教授 福嶋慶繁 准教授
知能情報	人工知能 ソーシャルコンピューティング マルチエージェントシステム 知能ロボット 脳科学	知能情報分野を主軸とし、生命物質やソフトマテリアル、応用物理も同時に学ぶことで、創業シミュレーションやバイオインフォマティクスの開発が期待されます。	大塚信博 教授 大園忠親 教授 加藤昇平 教授 白松 俊 教授 船瀬新王 准教授
メディア情報	音声認識・音声合成 音声対話・画像認識 画像解析・画像生成 機械学習・AI技術 VR・AR技術 マルチメディアシステム	メディア情報分野を主軸とし、知能情報やネットワーク、電気電子を同時に学ぶことで、次世代のヒューマンコンピュータインタラクションシステムの開発が期待されます。	徳田恵一 教授 田口 亮 准教授 南角吉彦 准教授 山本大介 准教授 横田達也 准教授
建築・デザイン	建築設計 建築意匠・歴史 建築構造・材料 建築計画・都市計画 環境デザイン・環境造形	建築・デザイン工学を学び、建築設計、建築意匠、構造材料、建築計画、都市計画、環境デザインなど多様な視点から安全性、快適性を追求し、よりよい人間生活の場となる空間の研究へと展開します。	石松丈佳 教授 井戸田秀樹 教授 兼田敏之 教授 北川啓介 教授 佐藤篤司 教授
環境都市	土木工学 建設分野 社会基盤 ライフライン 持続可能な社会 生物多様性管理 安全安心な都市の設計	土木工学を基礎とした環境都市分野を主軸とし、ICTやマネジメントのセンスをも身につけることで、私たちの生活や産業活動を下支える社会基盤(インフラ)を、自然環境とも調和させつつ、多様かつ質の高いものに仕上げる技術者や研究者となることが期待されます。	秀島崇三 教授 増田理子 教授 永田和寿 准教授
経営システム	リスクマネジメント インノベーションマネジメント システム思考 重要インフラ防護 組織・人材管理	経営システム分野を主軸とし、ネットワークや知能情報、機械工学を同時に学ぶことで、企業や行政機関といった組織の経営に不可欠な新たなマネジメント手法やシステムの思考能力を実践的な技術開発に展開することが期待できます。	井村直恵 教授 横山淳一 教授 渡辺研司 教授